

# 国語科学習指導案

指導者

1. 日時 令和7年9月24日(水)第5時限

2. 場所

3. 学年・組 第2学年1組(31名)

4. 単元名 想像をふくらませて読もう「ニャーゴ」(東京書籍 二年国語上)

5. 単元の目標  
人物の様子を想像して、音読で表すことができる。

6. 単元について

・単元について

本単元の重点指導事項は、学習指導要領における「場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。」である。

これまでに児童は、場面ごとに登場人物の様子や行動を読み取ることや、「時」「場所」「人物」を手がかりに場面を分けることを学習してきた。それを踏まえて本単元では、場面ごとに登場人物の様子や行動を具体的に想像し、想像したことを音読で表現したり発表しあったりする学習を行う。人物の様子や行動を具体的に想像する力や、読んで感じた自分の思いや考えを表す力を養うことをめざす。

・教材について

本教材は、登場人物どうしの設定に特徴があり、「食う-食われる」関係にあるねこ子ねずみの関係が、物語の中で少しずつ変化していく。子ねずみたちの勘違いや行動によって、ねこの心情に変化が起こってくる様子を音読で表したい。

文章中には、題名でもある「ニャーゴ」という言葉が何度も出てくるが、それらの「ニャーゴ」の意味は全て異なる。それぞれの「ニャーゴ」は、言い換えるとどのような言葉になるのか、前後の叙述を手がかりにしながら想像を広げることができる。友達と話し合いながら想像を広げることができ、音読を通して「読むこと」の力をつけるのに適した教材である。

・児童について

本学級の児童は、音読に意欲を持ち、元気よく声を出すことができる。しかし、登場人物の気持ちを想像することや場面に応じて読み方を工夫することは難しく感じており、読みの深まりが課題となっている。そのため、本単元では、まず丁寧に登場人物の行動や会話について読み取った後、気持ちを想像しながら音読する活動を通して、表現の工夫につなげていきたい。

## 7. 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読している。【(1)ク】	◎「読むこと」において、場面の様子に着目して、登場人物の行動や様子を具体的に想像している。【C(1)エ】	進んで人物の様子を想像し、音読で表そうとしている。

## 8. 指導計画(全12時間 本時8/12時間目)

時	学習計画	指導上の留意点	評価規準・評価方法
1	① 物語の内容を想像する。 ② 全文を通読する。 ③ 初発の感想を伝え合う。 ④ 「言葉の力」と学習課題を確かめる。	・初発の感想を分類・整理し、児童が関心を持っている場面等を明らかにし、学習課題や「めあて」の設定に生かす。それによって、意欲が低い児童に対して、興味・関心の喚起を促す。	【態度】関心を持ったところを伝え合おうとしている。(ワークシート・発言)
2	① 学習の見通しを持つ。 ② 全員で音読する。 ③ 本時の学習を振り返る。		【知・技】ひとまとまりの語や文として音読している。(音読)
3	① 学習課題を振り返り、学習計画を確かめる。 ② 全文を音読し、本時のめあてを確かめる。 ③ 人物や場所を手がかりに場面のまとまりを捉える。 ④ 本時の学習を振り返る。	・場面分けの手がかりとなる「場所の移動」が捉えづらい場合は、第1~2場面の区切りを学級全体で確認した後、それ以降の区切りはペアやグループで相談して見つけさせる。	【思・判・表】人物や場所を手がかりに場面のまとまりを捉えている。(ワークシート・発言)
4	① 本時のめあてを確かめる。 ② 人物の行動や会話、人物の様子が分かる言葉を抜き出し、表にまとめる。 ③ 第1~2場面で行った出来事を確認する。 ④ 場面の様子や想像して音読する。 ⑤ 本時の学習を振り返る。	・初回はサイドラインの引き方、本文から表への言葉の抜き出し方など、学び方を丁寧に指導する。学び方を掲示物で示し、次時以降はそれを見ながら学習を進められるようにしておく。	【思・判・表】場面の様子や登場人物の行動など、人体の内容を捉えている。(ワークシート・発言)
5	① 本時のめあてを確かめ	・表にうまくまとめられない	【思・判・表】場面の様子や登場

	② 人物の行動や会話、人物の様子が分かる言葉を抜き出し、表にまとめる。 ③ 第3～4場面で起こった出来事を確かめる。 ④ 場面の様子を想像して音読する。 ⑤ 本時の学習を振り返る。	場合は、前時の学び方を掲示したものを参考にできるように助言したり、個別に支援したりする。心内語については、いったこととして扱うように指示する。	人物の行動など、大体の内容を捉えている。(ワークシート・発言)
6	① 本時のめあてを確かめる。 ② 人物の行動や会話、人物の様子が分かる言葉を抜き出し、表にまとめる。 ③ 第5場面で起こった出来事を確かめる。 ④ 場面の様子を想像して音読する。 ⑤ 本時までの学習を振り返る。	・表の整理が不十分な児童に対しては、友達の表を参考にさせるなどして、足りない部分を補わせるようにする。	【思・判・表】場面の様子や登場人物の行動など、大体の内容を捉えている。(ワークシート・発言)
7	① 本時のめあてを確かめる。 ② 第1～2場面での人物の行動や会話の理由を確かめる。 ③ 人物の様子を想像し、音読の練習をする。 ④ 本時の学習を振り返る。	・人物の様子が捉えづらい場合は、人物の思っていることを心内語の形で書いてみるように助言する。	【思・判・表】場面の様子に着目して登場人物の行動や気持ちを具体的に想像している。(ワークシート・発言) 【思・判・表】想像したことを基に音読している。(音読)
8 本時	① 本時のめあてを確かめる。 ② 第3～4場面での人物の行動や会話の理由を考える。	・人物の様子が捉えづらい場合や、人物の思っていることを心内語の形で書いてみるようにする。	【思・判・表】場面の様子に着目して登場人物の行動や気持ちを具体的に想像している。(ワークシート・発言) 【思・判・表】想像したことを基に音読している。(音読)
9	① 本時のめあてを確かめる。 ② 第5場面での人物の行動や会話の理由を考える。	・人物の様子が捉えづらい場合や、人物の思っていることを心内語の形で書いてみるようにする。	【思・判・表】場面の様子に着目して登場人物の行動や気持ちを具体的に想像している。(ワークシート・発言)

	③ 人物の様子を想像し、音読の練習をする。 ④ 本時の学習を振り返る。		【思・判・表】想像したことを基に音読している。(音読)
10	① 全文を音読し、本時のめあてを確かめる。 ② 音読の工夫を考え、グループで音読練習をする。	・児童が楽しんで音読に取り組めるよう、モモなどの小道具を用意するなど劇化を取り入れられる。	【思・判・表】場面の読み取りを基に、音読の工夫を考えている。(ワークシート)
11	① 音読発表をする。 ② 本時の学習を振り返る。	・児童が楽しんで音読に取り組めるよう、モモなどの小道具を用意するなど劇化を取り入れられる。	【思・判・表】物語の登場人物の様子や気持ちについて想像を広げて物語を読み深めている。(音読)
12	① 全文を音読し、本時のめあてを確かめる。 ② 単元全体の学習を振り返り、感想を書く。 ③ 学習の感想を発表し合い、本単元に身に付けた「言葉の力」を確かめる。	・単元全体の学習を振り返らせる際には、第1時との比較や成果物を提示する。 ・毎時間の学習の振り返りや板書の写真等を一覧で見られるように、ICTを積極的に活用する。	【態】本単元での学びを具体的に振り返っている。(ワークシート・発言)

9. 本時の指導

(1) 本時の目標

第三・四場面での人物の行動や会話の理由について考え、人物の様子を想像することができる。

(2) 評価基準

A 十分に満足できる	B 概ね満足できる	C 努力を要する児童への支援
場面や人物の様子を想像して、声の大きさや明るさ・暗さを工夫しながら音読できる。	人物の行動や会話の理由について考え、人物の様子を想像することができる。	叙述をもとにしながら、友達の考えを参考にして、音読の仕方を工夫できるようにする。

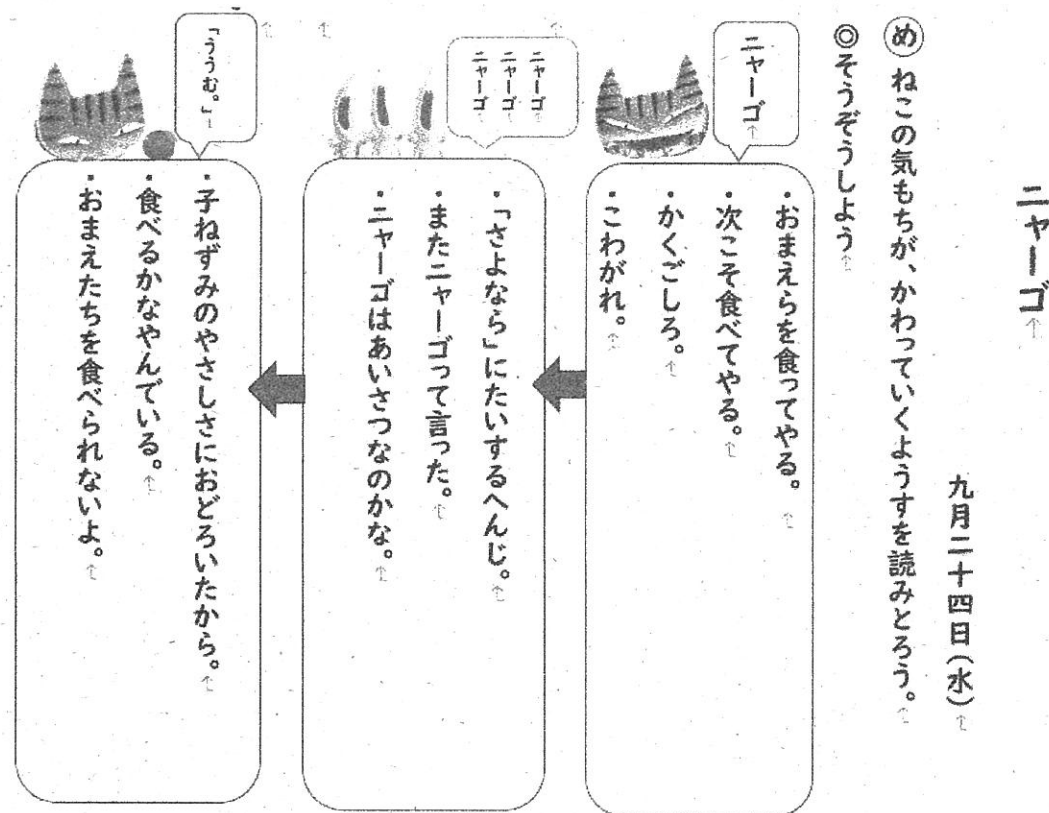
(3) 本時の展開 (8/12 時間)

学習過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
導入 5分	○表に整理したことを踏まえ、第3～4場面を読み取っていき、こと知る。 ○めあてを確認する。	・子ねずみを食べたいと思っていたねこの気持ちを想起させた上で、本時に入る。	

	めあて ねこの気持ちが、かわっていくようすをよみとろう。	
展開 35分	<p>○第三・四場面の音読をし、物語の出来事を確認する。</p> <p>○第三・四場面を一文ずつ確認し、これまでの授業内で出た児童の疑問を中心に、登場人物の表情や口調、様子、その理由について想像を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ももを食べながらねこが考えていたことを確認する。</li> <li>・P124、L9の「ニャーゴ」について、ねこと子ねずみたちの解釈の違いを考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考える。</li> <li>・ペアで共有する。</li> </ul> </li> <li>・p125、L3の子ねずみの「ニャーゴ」の意味を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人で考える。</li> <li>・ペアで共有する。</li> </ul> </li> <li>・「ねこが『ううむ。』と言った後、ため息をついたのはなぜか。」について考える。</li> </ul> <p>○人物の様子をどのように音読で表したらよいかを考え、ペアで音読練習をする。</p>	<p>・音読をする前に、第四場面ではどのような出来事があったのか確認しながら読むように促す。</p> <p>・前後の叙述から登場人物の気持ちを想像させる。</p> <p>【思・判・表】場面の様子に着目して登場人物の行動や気持ちを具体的に想像している。(ワークシート・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一度目の「ニャーゴ」と比較をさせ、今度こそ食べてやるというねこの決意を読みとらせる。</li> <li>・ねこと子ねずみたちの「ニャーゴ」という言葉の意味のずれを黒板で視覚化して表す。</li> <li>・第四場面の始めと終わりで猫の様子が変化していることを捉えられるように、ねこが「ニャーゴ」と子ねずみたちに向かって叫んだ時と、「ううむ。」と大きなため息をついた時のことを、時系列に沿って板書で表す。</li> </ul> <p>【思・判・表】想像したことを基に音読している。(音読)</p>
ま と	○本時の学習を振り返る。次時	

め 5分	は、第五場面を読みとっていくことを知る。	
---------	----------------------	--

10. 板書計画



11. ご講評欄